

進路指導部は、皆さんの進路を決定するお手伝いをするところです。この「進路通信」も、進路決定の参考となるよう、様々な情報を伝えていきたいと考えています。

3年生はいよいよ進路決定の最終段階にきています。1・2年生にとっても遠い未来の話ではありません。今から自分の将来を十分に考え、悔いのない進路決定をして欲しいと思います。皆さんが進路実現（夢実現）できるように、担任の先生方とともにしっかりサポートしていきたいと考えています。その為にも何か分からないことがあったら、気軽に進路指導室に相談に来てください。

「進路」を考える

「進路」を考えるということは、ただ高校を卒業した後に、どの会社に就職するのか、どの学校に進学するのかということだけではありません。「これからどのように生きていくのか」ということを考えることです。そして、「自分が何をしたいのか」を考えるのも大事ですが、「自分は何ができるのか」ということもしっかり考えて、進路を選択して欲しいと思います。

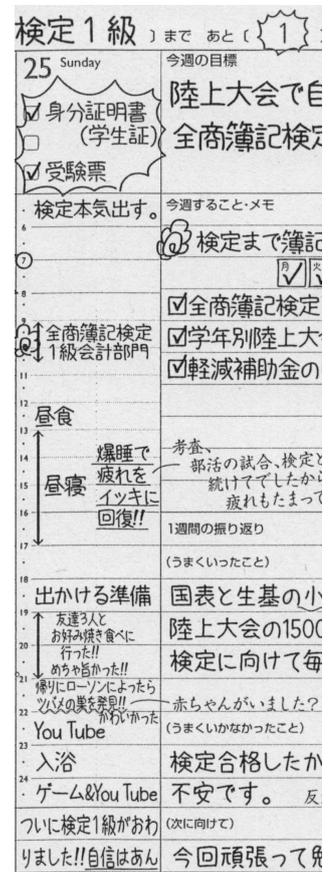
手帳活用のすすめ

皆さんは日頃、手帳を使っていますか？

先日、卒業生と会ったとき、手帳を持ち歩いていることに気がきました。高校時代は手帳を書いている様子など全く見せなかった生徒でしたが、「手帳を持ち歩いているんだね。」と尋ねると、「今はこれがないと仕事になりません。」と・・・、手帳活用の大切さをしばし熱く話してくれました。

社会に出たら必要不可欠なものである手帳、手帳を活用することでどのような効果やメリットがあるのか調べてみました。

- ① 連絡事項を書き込むことで、忘れ物が減る。
- ② 目標に向けてやるべき事を把握することができる。
- ③ 思いついた事やアイデアをそのまま残すことができる。
- ④ 時間の使い方を考えるようになる。
- ⑤ 時間を意識して計画や行動を考えることができる。
- ⑥ 実効性の高い計画を立てることができる。
- ⑦ 自分の行動を振り返ることができる。
- ⑧ 行動を分析して次の行動を工夫することができる。
- ⑨ PDCAサイクルが身に付く。



PDCA サイクルとは？



1年生は進路の教材として手帳を活用しています。2・3年生も自分の将来のために活用してみてもどうでしょうか。

手帳活用習慣化のコツ

ペンとセットで持ち歩こう
とにかく最初は書き続けることが大切！！
そして自分の手帳に情報量を溜めてください。

進路目標を実現するまでのスケジュール

1年生

- どのような職業があるかを調べる。
- 基礎学力を身に付ける。
- 系の選択（系によって進路も異なります。）
- 手帳の活用（手帳の活用を習慣化し将来に備える。）



2年生

- 就職か進学かを選択する。
- 部活動や資格取得に積極的に取り組む。
- 昨年度までの求人票をみて業種や職種について研究する。（就職）
- 受験する職種に対応した問題集等で学習を開始する。（公務員）
- 学校や学科の研究。進学朝課外などを受講して学力の向上を図る。（進学）



3年生

- 1, 2年生で身に付けた実力を発揮するための集大成。
- 最後まで基礎学力や専門技術の向上に努める。

3年生の進路に関する主な日程

	就職（企業）	公務員	進学
4月	←	三者面談（進路の方向を決める）	→
5月	SPI対策テスト	公務員模試	学校説明会への参加
6月		願書受付開始	国立高専編入試験願書受付
7月	求人受付開始		夏季補習
8月	←	（進路の最終決定、確認）	→
8月	応募書類準備・発送	第一次試験開始	オープンキャンパス参加
9月	就職試験開始（9月16日）		
	合否発表		
10月		第二次試験開始	専門学校出願書類作成 専門学校入試開始
11月			私立大学出願書類作成 私立大学推薦入試開始
			国立大学出願書類作成
12月		最終合格発表	国立大学入試（推薦Ⅰ）
1月			センター試験
2月			国立大学入試（推薦Ⅱ）
3月			大学一般入試



※ 進学や公務員に関しては出願や試験の日程を各自で確認しておくこと。
受験するものによって日程が異なるので注意が必要です。

Milestoneとは

進路通信のタイトルのMilestone（マイルストーン）とは、道路や鉄道などで起点からの距離を表したものです。日本にも同様に一里（約4km）ごとにおかれた一里塚というものがあり、旅人たちの道しるべとされてきました。また、マイルストーンとは、プロジェクト（仕事の企画・計画）の中で遅れの許されないような重要な節目のことも指します。仕事を計画する人たちはマイルストーンをまず決めて、それに向かって細やかな計画を立てて仕事を進めていきます。みなさんは、卒業までの間に自分の進路目標の実現に向かって、自分自身の力で一步一步進んでいかなければなりません。この進路通信もみなさんの進路実現のためのMilestoneの一つになればと考えています。

